

新潟水俣病原告団 伊対協会長と懇談

富山訪れ現状説明



「新潟水俣病50年・公害総行動40年 公害をなくし地球環境を守る北陸信越キャラバン」の一環で、ノーモア・ミナマタ第2次新潟全被害者救済訴訟原告団の皆川榮一団長と写真右が27日、富山市婦中町萩島の清流会館を訪れ、高木勲寛イタイイタイ病対策協議会長と同日と懇談した。

高野秀男新潟水俣病共闘会

議事務局長、福島原発訴訟原告団、山崎彰県平和運動センター議長と共に訪問した。

高木会長は、2013年の原因企業との「全面解決」合意に触れ、「40年間救済を訴えてきたカドミ腎症についての当事者間の解決であり、全て終わりではない」と強調。

皆川団長は「新潟水俣病は解決のめどが立たず、差別や偏見から名乗り出られない人も多い」と現状を説明した。

同日は県庁を訪れ、公害・環境対策推進を求め要請書を提出。同市内で新潟水俣病や東京電力福島第1原発事故の現状を訴える集会も開いた。

新潟水俣病50年 県に要請書提出 全国キャラバン

第40回公害総行動全国キャラバンの一行が27日、県庁を訪れ、1965（昭和40）年の新潟水俣病の公式確認から50年の節目に、公害と環境問題の対策を求める要請書を提出した。

ノーモア・ミナマタ新潟第2次訴訟原告団の皆川榮一団長らが、杉田聡県環境政策課長に▽県の広報などで新潟、熊本、鹿児島から移住した人へ水俣病認定の手続きを呼び掛ける▽県内在住の福島第1原発事故避難者への支援を継続することなどを求めた。井加田まり県議が同席した。

富山市婦中町萩島の清流会館も訪れ、「神通川流域カドミウム被害者団体連絡協議会」の高木勲寛代表理事と意見交換した。



- ・29(金) さわやかコンサート
19:00 富山市民プラザ
- ・30(土) 志賀原発を廃炉に訴訟原告団総会
14:00 石川県地場産業振興センター
- ・31(日) 女性のリードアクション富山
11:00 CIC前広場(集会・デモ)
- ・6月3日(水) 沖縄連帯キャラバン
皆天向基地はいらない! 沖縄の報告
新基地建設を許さない!
- 18:15 自治労会館3F大ホール
講師 琉球新報記者 嘉陽 新永(かやふくや)